
芭蕉の日々

林檎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

芭蕉の日々

【Nコード】

N7798K

【作者名】

林檎

【あらすじ】

起伏のない日々を送っている少年のもとに非日常が忍び寄る。

プロローグ

その日俺はいつものように
ネットの掲示板を
巡っていた。ふと目に

【嘘】都市伝説【だろ？】
というスレが映った。
何となしに開くと
そこは、妙な盛り上がりを見
せていた。

一体なんだと話題の素を
探してみると…笑えてきた
何でも最近、超能力を
ある日突然手に入れた
という友達の話が発端に
盛り上がってるらしい

「くっくだらねえなあオイ」
そうぼやきスレを閉じた
何か面白い話題かと
思いきや下らない内容で
やる気が失せた。

あー…そろそろ寝ようかね
そう考えベッドに入り
目を閉じようとした時
携帯にメールが届いた。

- 見るの明日でもいいや -

襲いかかる睡魔に

身を委ねて俺は静かに

眠りについた。

翌朝

まだ寝ていたいと抵抗する

身体に鞭を打ち

ゆっくり身体を起こす。

時間は午前8:00

「HRには間に合わんねこりゃ」

ならばゆっくり行こう。

着替えて玄関を出て

空を仰ぐ…曇りかよ

何かやる気が根こそぎ

持っていかれた。

灰色の空の下をとるとろ
歩いてゆく学校までの
道には商店街がある。

商店街に入ると
どこもかしこも
店が閉まっている。
真つ当な人間なら
働いてる時間だが
これには理由がある。

全部潰れているのだ。駅前にできた巨大な
ショッピングセンターの
煽りをもろに受けて

かつては活気のアつた
商店街も今じゃ寂れて
哀れな感じになっている
人っ子一人いない
この寂れた商店街が
俺は好きだ。静かで
どこか退廃的な雰囲気すら
感じるこの空気が…

「ん？あれ？」

俺以外誰もいないはずの
商店街に人がいた。
女だそれもとびつきり上玉
その上玉がこちらを
じーっと見ている。

改めて女を観察すると
印象としては黒
腰まで伸びた艶やかな
黒髪に黒い服
そのくせ肌は雪のように
白くて黒を際立たせている

「あー何かようかな？」

そう問うてみるが無言
かと思いきやいきなり
踵を返して去って行く。

何だったのかあれは
全くもって変な女だ。

商店街を抜けしばらく
歩くと学校が見えて来た

時間は8：40やはり

朝のHRには間に合わなんだ

教室に入り自分の席に

向かうと声を掛けられた

「今日は随分ゆっくりだね」

そいつは何が楽しいのか

ニコニコしながら

話しかけてきた。

…こんなモブと話すことで

無駄に描写を増やす

必要があるのか？

ないな…何の起伏もない

日常会話を見て誰が

喜ぶのだろう？

というわけで

「失せるモブお前と話すのは描写の無駄だからな。」

そう言つと泣きながら

走り去って行った。

打たれ弱いモブめ…

キンコーンカーン

終業の鐘がなる。

今日も1日勉強に励めた

我ながら誉めてやりたい。

「あれ？何か時間飛んでなかった？ねえ？ねえ？」

朝のモブが何やら

話かけてくる。

鬱陶しい奴め…

「お前は馬鹿か時間が飛ぶわけないだろう。」

「いや、でも何か色々描写がすっ飛ばされて…」

「しつこいモブだな。いい精神科を紹介してやる。」

そう言うとまた泣きながら

走り去って行く。

グラスハートのモブめ…

さて俺も帰ろう。

今朝の女が気になり、
商店街に足を運ぶ。
朝と同じ寂れた商店街だ。

辺りを見回すと……いた！
朝の女だ。やはり
こちらを見つめている。

「……………」

無言……痛いくらい無言。

「ッ！？」

身体に怖じ気が走る
意識が遠のきそうになる
息……ができない

「ッ！ハア……ハア……」

何とか息を吐き出す。

「何が……起きた？」

プロローグ：終

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7798k/>

芭蕉の日々

2010年10月11日20時48分発行